

カイギショ ゲツポウ Geppou

2020
2
VOL.872

正副会頭座談会開催

【とーくさろん】
LITTLE TREAT
山本量子さん
太田恭子さん

【ひと】
NTT西日本
東海事業本部
ビジネス営業部
ビジネスパートナー
営業部門長
大西 壮氏

【会員訪問】
食の蔵 酒菜

半田商工会議所

健康生活サポート事業

ひだまりの郷

燐葉倶楽部

株式会社ミズノ

エネルギー事業



製バイオクラシックス半田
bio classics Hande Ltd

住宅事業



加藤連合建設

不動産事業



TRUST AGENCY

農業事業



にじまち

もっと人へ。もっと多様に。 未来に誇れる街づくり

八洲建設は建築・土木などの建設産業を基盤に不動産業や住宅産業、介護・福祉産業、太陽光発電などのエネルギー産業、農業を通じた食産業といった様々な産業に取り組むことで人が暮らしやすい豊かで活気ある街づくりを目指します。



もっと人へ。健やかな街づくり
八洲建設株式会社

ISO 審査登録
9001・14001・45001



本社

〒475-0977 愛知県半田市吉田町一丁目60番地
TEL.0569-27-8400(代) FAX.0569-27-8840

名古屋支店

〒460-0011 名古屋市中区大須一丁目23番53号
大須APARTMENT 2F
TEL.052-223-8400

税理士法人 経世会

代表社員 筒井保司



【業務内容】

税務書類の作成

税務代理

税務相談

税務監査

税務争訟

Tax Planning

財務書類の作成

各種財務管理資料の作成

相続対策コンサルティング

事業承継コンサルティング

本 社 半田市乙川高良町105番地
TEL.0569-21-2145 (代)

表紙・・・新時代に向け新しくなった「geppou」は、様々な世界で働く方々の輝く今をご紹介します。

Capsule Salon LITTLE TREAT 山本量子さん 太田恭子さん

リトルトリートの意味は“ちょっとしたご褒美”。一日のちょっとした時間でカラダとココロにご褒美を与える場所をイメージして命名。半田初の酸素カプセル・カラーゲンマシン専門店店長の山本さんと、家族同士のお付き合いで友達歴13年の太田さんの見事なコミュニケーションと笑顔で居心地良さ。



大前田 壮氏
NTT西日本 東海事業本部
ビジネス営業部 ビジネスパートナー営業部門長

全ての人を幸せに！

NTT西日本 東海事業本部

ビジネス営業部 ビジネスパートナー営業部門長

大西 壮氏

1970年三重県多気郡生まれ。93年法政大学法学部卒業。同年日本電信電話(株)(現NTT西日本)入社。刈谷支店、NTT研修センター勤務、本社勤務を経て、2017年現職。三重県在住。当所議員。



世界のホームラン王、王貞治氏に憧れ「子供たちに夢を与える野球選手になりたい」と高校卒業まで野球中心の毎日。法政大学に入学し硬式野球部に入部。甲子園で活躍した名だたる選手たちと共にプレーする機会を得た。しかし、夢へのステップを駆け上がった矢先、肩の怪我によりその道は儚くも絶たれた。

「失意の中で支えとなったのが『電話』でした。一人暮らしが始まったばかりの東京は心細く、郷里の友達に電話し続けました。請求金額に驚き『もっと気軽に使える電話にしたい』『沢山の人の役に立つため顧客数の多い企業に就職したい』とNTTを志望。怪我の後に所属した軟式野球部の先輩からの導きもあり入社し、営業からスタートしました」

後、NTT研修センターにおけるJICA(国際協力機構)海外研修員の受け入れ業務、NTT西日本本社での企画業務等、様々な部署で幅広い業務に携わり、2017年に東海事業本部に新設された、パートナー企業とのアライアンスを推進するビジネスパートナー営業部門の長として着任。入社して27年、通信は固定電話からインターネットへと激変したが、同時に自らも道を追うごと、役職に就くごとに、その姿、言動は変化し続けている。営業職として各戸の扉を叩いて回った新人時代、インターホンを押すことをためらい、消え入りそうな声で対応していた。研修センターでは、各国代表の研修員との英語での対応に苦慮し冷や汗を流したという。

「僕は元来内気で人見知りタイプ。身内からは絶対営業には向かないと心配されました。いつの頃からか役をいただくスイッチが入るといふか、成りきることができるようになりました。今も目一杯頑張ってその役を演じています(笑)」

同部門は、パートナー企業との各種提携により、情報機器・ネットワークサービス・クラウドサービス等を組み合わせたソリューションを提供し、お客さまである中小企業の経営課題を解決へと導くよう取り組んでいる。パートナー企業との関わりは、異文化との出会いでもあり、相互のコミュニケーションや信頼が不可欠。日々、課題は山

積されるが『大変なのが普通。大変だから任命されたと解釈している』と前向きに真摯に取り組む。パートナー企業との対応を中心に東海4県を飛び回る日々だが、『大阪本社勤務時代に西日本全域を対象としていた時と比べれば、行動範囲は狭い』と、今日は静岡、明日は三重とフットワークも軽い。

「当社は通信インフラを支える企業として社会貢献してきました。時代の変化を再認識した上で、今後は社会を取り巻く様々な課題を先頭に立ってICTの力で解決していく『ソーシャルICTパイオニア』を目指して変革を続けています。その自負を持ち、パートナー企業と共にもっと沢山のお客さまに貢献していきたい。NTTだけでは解決できないお客さまの課題もパートナー企業と連携すれば解決できると思っています」

お客さまやパートナー企業との対応だけでなく、自部門社員40名の統率も重要な仕事である。社員が健康であることが大前提。安心して働けるよう職場環境の改善等に配慮し、経営方針等をわかりやすく伝え方向性を合わせるよう努力している。

「入社研修時の目標を掲げる場面で好きな歌のワンフレーズ『最後は僕が笑う』と書きました。苦労しても多くのお客さまに貢献し沢山の方を幸せにできれば、『頑張ってた良かった』と笑うことができます。まだ成長過程の僕なのでこれからも人を幸せにするチャンスは沢山あります(笑)。最後は『NTTに入って良かった』と笑いたい、それが今の僕の夢です」

野球少年だった頃から、社会の役に立ちたいという想いを持ち続けた。大人になった今も誰かがハッピーになれば嬉しい。その熱い想いは変わらない。



①大学軟式野球部時代
②パラグライダーの仕事の合間にイグアスの滝に(1999年、左)
③研修センター歓迎会(1998年)

ちょっと
一息



マスターズ集合写真



ピッチャーとして活躍(伊勢新聞に掲載)

物心ついて以降、野球から長く遠ざかったことはなく、今もプロ・アマの枠を超えて出身校別にOBチームを結成し戦う夢の舞台『マスターズ甲子園』出場に向けて挑戦しています。試合で痛めた両膝を昨年手術。来る3月の県予選に向け完全復帰でピッチャーマウンドに戻ることを目指しています。10年後は「130kmを投げる還暦おじさん」が目標です。

野球は3割打ってようやく一流ですが、「仕事の新企画は打率1割でもOK!」と社員に伝え、「まずはバッターボックスに立ってバット振ってこい!」とチャレンジを後押ししています。失敗から学ぶことも沢山あります。若い人はもちろん、誰もが可能性を秘めています。仲間を信じ、自分らしい人生を送ってほしいと願っています。

「考動する商工会議所」から 「真に活動する商工会議所」へ

「考動する商工会議所」として、半田商工会議所を変革していく榊原康弘会頭の基本方針のもと、1期目の3年を終え、新たに2期目がスタートした。

「会員ファースト」を引き続き取り組みの柱に、時代に即したスピード感をもって、商工会議所・行政・市議会が三位一体となり、私たちのまちを良くする、元気にする、活性化する決意のもと活動を始める。



榊原会頭(右から3人目)を中心に、右から水野副会頭、中埜副会頭、小栗副会頭、松石副会頭、小柳専務理事



1期目3年間を振り返る

考動する商工会議所として 地域別会員懇談会を開催 4委員会を発足 行政との懇談会を実施

小柳 昨年10月末の任期満了に伴い、11月からの現任期で会頭、副会頭が再選された。本日は1期目を終えられての感想、これからの3年間の展望などを伺う。まずは1期目3年間を振り返っての印象、2期目の開始にあたっての心境はいかがか。



行政・市議会と 三位一体で 挑戦をし続ける

会頭 榊原康弘
(知多信用金庫 会長)

榊原 最初に会頭をお受けした3年前には1期で退く考えで臨んだが、昨年4月に逝去された京才前専務理事の意も汲み、2期目をお受けする決心をした。

京才前専務理事は、商工会議所業務に尽力し、多くの会員企業を支援されてこられた。その意思を受け継ぐことが京才前専務理事の想いと私の心の中で重く受けとめ、どうしたらその約束を果たせるのか、2期目のスタートはそれが最も自分の中で大きな位置を占めている。2期目も正副会頭、同じ陣容だが、その想いは共有している。そして新しい専務理事、事務局長は、京才前専務理事の想いをしっかり受けとめ、次に繋いでいくことが大きな仕事ではないかと感じている。そういうことを含めた中で2期目を務めていきたいと思っている。

中埜 会頭と同じ3年前に副会頭に就任したが、元々サラリーマン生活が長く、ほとんど商工会議所と関係することはない、そもそも商工会議所が何をすることも良く分からない状況の中でのスタートだった。商工会議所の使命は地域の産業、観光振興、発展に寄与すること、文化の継承等と表記されているが、将来的には活動の継続が危ういのではないかと心の中では思っていた。しかしながらその考えは全くの見当外れで、会頭の下で様々な事業に関わらせていただいた。この3年間、会頭と色々と仕事をし、良かったなあと思うのはその立場に就いた以上、何か足跡を残したい、何かやりたいと非常に前向きに考え、行動をされる姿勢を間近で拝見したこと。

松石 私もこの3年間は、会頭とご一緒させていただいたことが一番良かったと感じている。経営者はこう考えるのだ、こういう時にはこういう決断をするのだとか、有意義なことを勉強させていただいた。そして各副会頭とご一緒に、色々な考え方を吸収させていただき、自分が勉強させていただいたということが有り難かった。

水野 私も尊敬する会頭、副会頭の先輩方に色々なことを教えていただき、大変勉強させていただいた3年間だった。

昨年9月には126周年を迎えた半田商工会議所の歴史の重みと、地域社会からの信頼、信用、期待というものが相当大きいことを実感した。副会頭という立場で外に出ていくと、非常によく分かり、切実に感じる事が多く、与えられている役割をしっかりと果たし、期待に応えていかなければならないと心に刻んでいる。



経済効果の実証は 今後の大きな テーマになる

副会頭 小栗利朗
(中利(株) 代表取締役)

小栗 私は副会頭として3期目を迎え、リーダーが変われば、そのリーダーのカラーが出て、全ての面に会頭方針が出て、有意義な商工会議所運営ができたのではないかと感じている。まずは商工会議所を変えていくという大きな仕事をいただいたが、具体的に何が変わったかといえば、『意識』ではないかと感じている。会員の皆さんや役員議員も、「会員であれば良い」と、会員であることが重要だったようだが、ここに来て『活動してこそ商工会議所』であると変化してきたように見受けられ、活動をカタチにして知多半島の中で示すことが大切だと骨身に染みた。

榊原 1期目は商工会議所を変えていくという大きな基本方針に基づき、特に副会頭の皆さん方には、商工会議所をいかに今までと違ったカタチに作り上げていくかを中心に動いていただいた。色々なことを試みてきたが、『考動する商工会議所』として、具現化の第一歩に半田市内を5地域に分け『地域別会員懇談会』を開催した。4人の副会頭と一緒に行動してきたが、現場の生の声を聞くことの重要性を再認識した。商工会議所は本来『会員ファースト』であり、会員のためになることをいかにやっていくかが重要。それが出来なければ会員の皆さんが受け入れてくれるはずはない。商工会議所は、会員によって支えられている。同時に商工会議所職員が、誰のために仕事をするか…。誰から負託を受けているのか…。会員の皆さんからの会費と共に負託を受けている。自ずと会員のために仕事をするという結論に導かれるはずであり、それを忘れずに仕事をしていかなければならないと切に思っている。

小柳 1期目は会頭方針を受けて『組織運営委員会』、『にぎわい創出委員会』、『企業問題対策委員会』、『人財育成委員会』の4委員会を新たに発足した。各委員会を副会頭の皆さんに担当いただき、委員長・副委員長と連携してまとめていただいた。この取り組みも商工会議所が変わってきた一因になったのではないかと感じている。委員会担当副会頭の立場から、ご意見をお伺いしたい。

●正副会頭座談会／榊原体制、2期目を迎えて

小栗 どちらかといえば商工会議所は従来、業種別の『部会』が活動の主体だったのではと考える。伝統的であったり、革新的であったり、大小様々な部会があり、半田は比較的恵まれた構成で部会が運営されてきた。4委員会に絞ることで部会活動にも影響が出るのではないかと思ったが、4委員会に集約したことも奏功し、各担当副会頭が一生懸命動き、このまち全体の雰囲気はかなり良い状態に作り上げていただいたという気がしている。

私が担当する『企業問題対策委員会』も、半田市内への進出企業と当地に本社を置く皆さんが業種を超えて企業の問題をテーマに、話し合う場所がで良かった。特に進出企業の方たちは、気を遣われながらも両者が協業化というか、それが上手に融合できた3年間だったと感じている。

企業問題対策委員会は、災害対策が一番大きなテーマになっている。全国に拠点を持っている企業は、災害が来るたびに必ず被害を受けてしまう。被災のご苦勞を聞く機会も多く、災害を身近に感じ、自社の危機管理を見直すきっかけになった3年間だったと思う。



中小・小規模企業の 声を代弁するのが 商工会議所！

副会頭 中笠喜夫
(株)Office北岳楼 代表取締役

中笠 組織運営委員会は、どちらかというと商工会議所内のことを管掌する役割で、私の長いサラリーマン時代の経験も活かせると思っている。

昨年あたりから、外部と関わりを持とうと委員会の所管事項の一つに『魅力ある会議所づくり』を取り入れ、IT化、ITを活用し会員にとって使いやすい、利用しやすい商工会議所であると同時に、商工会議所の中の業務ももっと効率化ができないかと委員会の中で議論をしてきた。まずは大垣商工会議所を視察し、Webセミナーを始めた。現在の利用状況では、毎月相当数の会員が利用されていると知り、お役に立つことができ良かったと思っている。

松石 人財育成委員会を担当し、事業承継、外国人労働者の問題等を課題に挙げ、最初は『老舗企業に学ぶ』や『M&A』を勉強してきた。しかし時代の変遷から、各企業が雇用対策として外国人労働者を積極的に取り入れていく中で、多文化共生等を議論していく変化となった。外国人労働者について学ぶため、ベトナム、カンボジアへの海外視察を2年連続で実施し、委員会事業としてもより充実したものとなったと委員の皆さんに感謝している。駆け抜けてきたという実感が非常に持てるこの3年間だった。

水野 にぎわい創出委員会を担当してきたが、名鉄知多半田駅前の区画整理事業、再開発事業であるクラシティ、そしてこれから始まるJR半田駅前の土地区画整理事業は、昭和から平成、そして令和へと時代が大きく変わってい

く中で、構想から計画、実施まで、長い時間をかけて事業が執行される。時代の変化を乗り越えて地域経営していく難しさを感じている。

また、ハード整備で街を綺麗にすれば地域が良くなるかというそうではなく、まちの進化は良いものを残しながら活かし、新しいことにチャレンジしていく。何を活かし、何にチャレンジしていくか…。今を、未来を、どう創っていくのか…。20年、30年後に対する責任を全うするため、行政、地域の皆様、関係諸団体とまちの将来ビジョンを策定共有し、今、行動しなければならないと実感している。

小柳 現在の体制となり、半田市長を始めとする市三役との懇談の機会を設け、昨年秋から市議会との懇談も始めている。商工会議所としても継続し伸ばしていきたいと思っている。

榊原 行政との懇談会を3ヶ月に1度くらいやってきたが、経済振興には同じ方向を向かなければならず、これは重要な取り組みだと考えている。ただそれだけでは不十分で、市議会との懇談をやろうと、昨年9月に初めて実施した。行政と議会と商工会議所、この3者が三位一体となって動かないと実現しない。この3者は、自分たちのまちを良くする、元気にする、活性化するという目標は同じであり、互いに共有できている。中でも、会員や市民の声を直接届けることができるのは、商工会議所の役目だと思っている。行動を起こすことにより、まちが動き、変わる。付け加えると126年の歴史ある商工会議所を変えることも必要だが、残すことも必要。100年企業は、少しずつ変化させながら100年継続している。必ずどこかで見えない部分も含め変えているはず。商工会議所も一気には難しいと思うが、私たちが担当している間に、何を変えることができるか考えていかなければならないと思っている。

新たな3年目の目標

魅力ある商工会議所づくりを強化
外国人と多文化共生を図る
地域力を向上しクリエイティブに創造
効果を数値で分かりやすく発信

小柳 この3年間、正副会頭の主導により、変革やそのスピード感をヒシヒシと感じる。商工会議所としてどのように変化していかなければいけないのか、職員個々の意識、行動も大変重要で、しっかりと理解し、一緒になって活動できるか…。職員も益々緊張感を持って取り組みたいと思っている。

さて、新たな任期の3年間、各委員会が中心となり、これまで積み上げてきたものを活かし活動していくことを想定している。特に企業の外国人雇用に関し、海外視察をしながら関係づくりをしてきたが、この3年間でどのように進めていくか。

松石 今、日本は少子高齢化で人口減少が避けられない。半田に置き換えた時、明らかに10年後、20年後、30年後に人口が減少し、経済が沈滞化していく。外国人の方たちが、住み良く、働きやすく、このまちが良いというまちづくりをし、外国人を受け入れる姿勢にしないと地域経済が維持できないと思う。これからは、外国人の方たちを積極的に雇用する方向性に変えていく必要がある。市民、まちの皆さんも巻き込み、外国人と多文化共生を図り、このまちが更に発展すると



いう考え方に持っていくことも大事だと考えている。今まで、2回海外視察をしてきたが、日本に行きたいとおっしゃっている方が数多く、日本企業も来て欲しいという方がいらっしゃる。マッチングをどう考えていくかが課題かなと思っているが、この3年間やってきたことをベースに成果を出せるようにしたい。この時代はスピードが肝要で変化を早くしていかなければいけない。具体的な実行に至らなかったこれまでの流れを引きずることがあってはならない。今はスピード感を持ち、変化に対応していくことが大事であり、会頭、副会頭の皆さんと一緒に大変革を遂げられる3年間にチャレンジさせていただけたらと思う。

小柳 半田運河は行政による整備が進み、JRに関しては高架化になって、まちの雰囲気が変わっていく。その変化にいかに対応していくか…。また、変化を牽引する商工会議所の指導力が試されていると思う。

にぎわい創出委員会から新たに地域力創造委員会へと刷新し、「地域力創造」という観点で、どのようにお考えか。

水野 地域力創造委員会という名称に変えたのは、この3年間担当させていただいて、まず、地域の力が弱いと感じた。つまり、地域の評価が低いということ。具体的には市外から半田に来て商売をしようという人がどれくらいいるか…。非常に少ない。この地域で出店し、商売をする魅力はないという評価であるということ。地域の評価である「地域力」を、向上させるだけでなく、クリエイティブに創造していく必要があると思ったから。まちの持っている資源の中で、「人」が一番の地域資源である。また、半田には運河、赤レンガ建物等があり、伝統文化も含め、その資源をどのように活かしていくか。活かすのは人。今、半田運河周辺を、地元企業が中心となって活性化しようとしている中で、我々個人もそうだが、企業市民も積極的に参画し相乗効果を高めることが必要。外部の力も必要かもしれないが、まずは地元が人を呼び込む仕掛け、知恵を投入していけるか、我々の力を注いでいけるかということが重要ではないかと思う。商工会議所の役割はそこにある。

中埜 新たな3年間は、『魅力ある商工会議所づくり』について強化したい。会頭方針にある商工会議所の“改革委員会”としての活動をしていく。何ができるかしかりと考えていきたい。

人が一番の
地域資源
活かすのは人

副会頭 水野貴之
(八洲建設(株) 代表取締役)



水野 松石副会頭が言われたように、民間もスピード感をキャッチし、手を打っていくことは必要。歴史を重ねるとどうしてもゆっくりになってしまいがちだが、時代も令和になりスピード感を活かしていく使命を商工会議所が負っているのではない。今は商工会議所だけではやれない時代になっている。行政、他の商工会議所など、広域で手を組んでいく、もしくはそ

の事業の関係者、機関などと手を結び、同じ方向へと進んでいくという、未来を創るプラットフォーム的な役割を、商工会議所がリーダーとして担って行くことが求められている。それを果たし、一段ずつ積み重ねながら10年、20年後に向かって次の時代に渡していけるまちを創ることができると強く感じている。3年間のうちに、ただ動くだけではなく、考えて動くべきとし、今度は「活動する商工会議所」として、これまでの3年間でどう礎にして考動・活動に移し、何か一つでも築き、次の期に突入していける新たな3年間でありたいと思う。



スピード感を持ち
変化に対応し、大変革を
遂げる3年間に！

副会頭 松石奉之
(株)マツイン楽器店 代表取締役)

松石 行政施策には経済的な観点が少ないように感じる。半田市総合計画も経済を活性化するという観点は乏しく、どうしても市民サービスが優先となる。行政には、経済を活性化させ、まちの活力を上げる施策を実施していただきたいが、一つの施策を実行したら地域にどれほどの経済効果をもたらしているか、商工会議所としてはその点を強く問い掛け、経済効果の是非を常に発信をしていかなければならないと思う。

榊原 集客を伴う施策では、来場者数は発表されるが経済効果は出されないことが多い。商店街の皆さんや商売をしている方に経済効果をもたらすことが大切。肌身で感じるだけではなく、活性化も数値で示さないと活性化にならない。最終的には数字で表すことが一番。皆さんの理解を得るために必要なことだ。市民のためにも、経済効果を数字で表すことが重要。それは行政の仕事でもあり、本気になって行政も経済効果を頭の中に入れるべきだと思う。

中埜 赤レンガ建物や半田運河沿いも結構な人数が年間訪れていると思う。しかし、季節によって波があるという根本的な問題もあり観光も定着しない。商工会議所も来街者にアンケートに答えてもらうとか、一石を投じようかなとやらないといけないかもしれない。

小栗 市町村の限界がその辺にある。副会頭を務め、徐々に感じてきたことは、効果を数値で分かりやすく発信することを商工会議所がやらなければいけないということであり、商工会議所のこれからの切り口にもなる。半田商工会議所は明治26年に発足し、地方都市の商工会議所として存続している。亀崎や成岩など、まちの元気さも半田市内の各地区に時代の流れを感じる。地域別会員懇談会を実施して「なるほどなあ」と。これも懇談会をやらないと分からない部分だった。

商工会議所としても、これからも重要な事業になってくると感じている。一つ一つの取り組みにかかる経済効果の実証は、これからの商工会議所としての大きなテーマになってくるのではない。

●正副会頭座談会／榊原体制、2期目を迎えて

水野 経済効果が単発であったとしても、来街者による消費で、その日その日の利益の積み重ねが大きな経済効果に繋がる。出来る限り恒常的な事業として存在し得ないと続かないということになる。イベントを行うにしても、「何人集客しました」という評価指標ではなく、地域の店舗で「いくら消費されました」が問われるべき。指標が変わればイベントの目的自体も変わり、そのための手段も大きく変わってくる。半田には半田運河があり、非常に雰囲気良く、ゆっくりと時間が流れ、休日を通すには良い場所。そのように認知していただくことは可能でも、そのカンフル剤(イベント)をやめた途端にそれが活かされないというのでは、中・長期的なビジョンに立った施策にはなっていないと思う。そこから一人でも二人でも商売の規模は別にして、そこでやっていこうという人が生まれることが重要。

中埜 最初、商工会議所の行政に対する立ち位置がよく分からなかった。この3年間で、地元商工業の発展、特に中小・小規模企業の声を一番代弁しなければいけないのが商工会議所と意を強くした。もともと代弁するだけではなく、2,360社の会員がいるので、行政には更にモノ申して、変えて行くことも出来る。その可能性があると思っている。

松石 商工会議所の会員企業は中小・小規模企業が大半を占める。今、行政施策の中に中小・小規模企業を守り活性化しようという意図があまりない。結局、大企業の誘致などに目は行いが、従前からの店舗が益々衰退し、新しい市街地にどこの地域でも見かけるナショナルチェーンが新店し、どこの地域も同じ風景になっている。半田というまちの文化を形成しているのは、従前からの店舗。これから、どのように守っていけるかということを、行政が出来ないのであれば、商工会議所がもっと力を入れていかないといけないと思う。

榊原 地方創生というのは、正しく地元を活性化させ、人、モノ、金が好循環する仕組みづくり。本来は地域が活性化し、そこで暮らす人が潤うような形にしていけないと、真の地方創生にはならない。大企業を誘致し、税収を上げることも大切だが、支えているのは中小・小規模企業であり、本当に地域経済を支えている。よく言われるのは、富士山が綺麗に見えるのも均質のとれた裾野が広がっているから。地域経済に目を移せば、裾野が中小・小規模企業であり、頂上の大企業は僅か。従業者数では、約70%が中小・小規模企業。行政もそういうところを見ないといけない。いつか市町が立ち行かなくなる可能性がある、大変な時代がくることは確実。半田は多様な業種があり、企業もあり他地域から進出し恵まれている。恵まれ過ぎていて新しい施策を打たない。他地域の市町は積極的に施策を打ってきている。今まで半田が地域一番だったが、周りの方が良くなってきている。このところ、半田市は“扇風機の裏”になっている。近隣となぜ手を組んで新しいことをやれないのか…。武豊は火力発電があり、地域の中の消費がものすごく大きい。そういうものを誘致し、立地するなら良いが、地域への相乗効果をしっかりと考えないといけない。以前、半田は断然トップだったが、現場を自覚しなければいけない。

小柳 「競争力」という言葉で括れば、確かに周りの市町と比較して競争力が高い訳ではない。商工会議所として果たすべき役割をしっかりと考え、地域の「稼ぐ力」を養いたい。

榊原 一期目3年の進捗の一つは、行政にモノを言える商工会議所になったということだと思う。どちらかと言えば、商工会議所は行政の子会社のようなものだったが、決して商工会議所はそうではない。それが実態であれば会員企業にも支持されない。これまでの3年間で言うべきことを言えるような関係性を築いてきたことが、大きな成果の一つと思う。市議会議員との対話も始めたが、市議会を巻き込むことは商工会議所の大きな変革になるかもしれない。これを続けなければならない。抵抗があるかもしれないが、それを打ち破っていかないといけない。挑戦をしなければ、会員企業からの支持も得られないだろうと思う。仕掛け、主導することができるのは商工会議所であり、他の人は言えない。一つ一つの挑戦が大きくなるとなり、次のステップに進む。どんどん巻き込んでいくことが大事であり、新たな挑戦をしなければいけないと思う。

何もやらない方が楽だが、それでは役目を果たせない。行政が怖がり、議会も怖がる商工会議所になる(笑)。モノ言う商工会議所になるということは、私たちが改革してきた大きな部分であり、会員企業の皆さんから「商工会議所は変わった」という声を出していただけるのはここにあるだろう。商工会議所がモノを言わず黙っていたら、会員企業の皆さんはモノが言えない。現場の生の声を聞かなければモノが言えない。そのために会員企業の皆さんには地域別会員懇談会に出していただき、どんどん発言、要望をしていただきたい。



実績を積み上げ
活きた
商工会議所に！

聞き手 小柳 厚
(半田商工会議所 専務理事)

小柳 “商工会議所はこうありたい”という理想がある。その理想を追求する中で正副会頭の考えを十分に踏まえ、商工会議所職員の理解と行動を伴いながら変革を促し、これからの任期3年間でしっかりと作っていききたい。一つ一つ実績を積み上げていけば、商工会議所としてもこれからも存続し得るだけでなく、“活きた”商工会議所になっていけるだろう。その決意で臨んでいきたい。

榊原 1期目は“考えて行動する商工会議所”としてやってきたが、真に“活動する商工会議所”として繋げていく。皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

大正天皇由来の「月の名所」

和を樂しむひととき

和食おたのしみ講座(料亭の楽しみ方、和食マナー他) 随時承ります。(無料)
全て個室です。イス席もできます。

BOU SHU ROU
創業安政二年 **望洲楼**
半田 亀崎 ☎0569-28-1136
半田市景観重要建造物に指定されました

電気工事材料 総合卸売業

朧山電機株式会社

くらしに光を!!
明るくあしたのために!!

〒475-0876 半田市東天王町1-17
(TEL) 0569-21-1516
(FAX) 0569-23-0170
E-mail: momi-den@mist.ocn.ne.jp

総合ケミカル建材メーカーとして街に世界に新しい価値を
確かな技術革新で未来へつなげる新型製品を提供し続けます

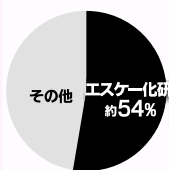


建築仕上材の総合メーカー

エスケー化研株式会社

各種内外建築用塗料、合成樹脂塗料、特殊塗料、無機質系塗材、無機質建材の製造販売及び特殊仕上工事の請負
不燃断熱材、耐火被覆材、耐火塗料の製造販売及び耐火断熱工事の請負他

建築用仕上塗材シェア

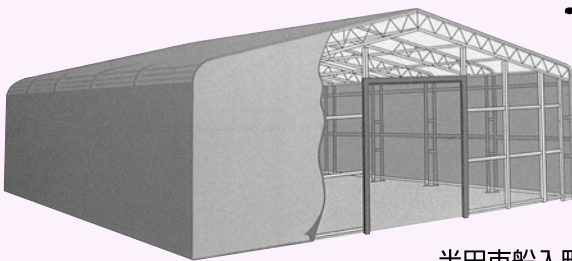


2013年NSK
(日本建築仕上材工業会)
の統計による

業界No.1

名古屋工場 〒475-0032 愛知県半田市潮干町1-2 TEL: 0569-29-3700

<http://www.sk-kaken.co.jp>



寺田産業(株)

- ◆テントハウス設計施工
- ◆デザインテント設計施工
- ◆工場内ビニール間仕切り・ブース
- ◆自動車用ホロ・防水シート

半田市船入町10-1

TEL.0569-23-0725 FAX.0569-23-0728



お肉と手作りハム・ソーセージの店

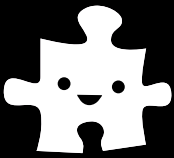
(有) 石川養豚場

ファーマーズマーケット **ブリオ**

定休日
毎週水曜日

〒475-0977 半田市吉田町4-173

TEL (0569) **20-5410** FAX (0569) **20-5415**



エスティらいふ
GROUP

エスティらいふ で 検索



株式会社沢田工務店

沢田工務店 で 検索

感動を創造し、地域と共に成長する。エスティらいふグループ・www.st-life.co.jp 株式会社沢田工務店・www.sawada.co.jp

#総合楽器販売 #各種音楽教室 #ダンス教室 #修理 #ピアノ調律 #クリーニング

音楽のことならお気軽にご相談ください♪



株式会社 山本楽器

半田市大和町1丁目30番地1

TEL (0569) 21-7828

中古ピアノセンター
併設



YAMAMOTO MUSIC SHOP

AISIN

Geared up for the future

アイシン精機株式会社

半田工場 〒475-0033 半田市日東町4番29番地 TEL 0569-24-6710

本社 〒448-8650 刈谷市朝日町2番1番地 TEL 0566-24-8441

半田市内にて浄化槽保守点検、配管洗浄、
グリストラップ清掃を行っています。

東海衛生有限会社

〒475-0911 半田市星崎町三丁目48番地2
電話.0569-21-3591 FAX.0569-21-3594





地域密着の親切丁寧なくるま屋です

Hondaの新車販売、中古車の販売、ホンダカーズ半田、メンテナンス・オイル交換など自動車のことならお任せください！

当社は環境保全・福祉・安全への取り組みを行っています。

ホンダカーズ半田 旭町店有限会社 朝倉ホンダ販売

〒475-0838 半田市旭町3丁目1番地1
TEL.0569-22-6776 <http://www.hondacars-handa.com/>



今までも、これからも～酒菜♪魚菜♪酒菜♪～ 食の蔵 酒菜

名鉄青山駅から東へ徒歩5分、JR東成岩駅からは西へ徒歩5分。両駅から近い立地にある「食の蔵 酒菜」。一見、隠れ家の要素を感じる店の佇まい。その店内では、大将の久松宏行氏が、厨房で腕を振るい、来店客に舌鼓を打たせる。この「食の蔵 酒菜」、実は、市内で四半世紀の歴史がある。今回はそんな歴史を紐解きながら紹介したいと思う。

初代「酒菜」は、大将のご両親が、酒が好き、料理が好きという理由から、青山駅すぐ東に、平成6年に開店。その後、場所を青山駅西側に移転し、「魚菜」と名称変更。この頃、宏行氏は「魚菜」で料理長を務めていた。料理長になるまでは、様々な店舗（居酒屋や割烹料理店等）で修業し、調理のいろは、人との縁の大切さを叩き込まれた。そんな宏行氏に最初の転機が訪れたのは、今から5年ほど前。独立創業も考えていた際に、両親から背中を押され、現在地に「食の蔵 酒菜」として開業。一国一城の主となった。両親は独立を決めた宏行氏のために、「魚菜」を閉店、「食の蔵 酒菜」をこれからの店とした。

独立創業した宏行氏。地元の繋がりや「魚菜」の常連客も継続リピーターとなり、順調に軌道に乗っていった。かのようにも見えたが、やはり最初のご祝儀での来店客も多かった。旬の食材を使った料理を楽しんでもらうため、魚介類、肉、野菜等を自らの足で、毎日仕入れにいき、自信をもって提供するも、客足は上げどまりとなった。

そんな状況の救世主は、半田商工会議所の経営指導員！と言いたいところだが、地元の先輩でもある半田商工会議所青年部（以下：青年部）メンバーだった。開業当初、一人で店を切り盛りするため、会合にも出られないだろうし、まず経営基盤を固めることが先決と思い、青年部への入会は少し時期を置いた方がいいかもしれ



●店内

ない、と筆者も宏行氏も思っていた。が、そこはさすがに地元の先輩、有無を言わさぬ勢いで入会メリットなどを説明し、「会合に出られない日は、俺らが店に来てやる！！」

という決め台詞もあり、宏行氏は、半田商工会議所青年部のメンバーとなった。

青年部加入後は、メンバーが会合後に来店することも増え、それと共に、宏行氏も経営者として時間調整を巧みにこなし、会合や事業などに積極参加するようになった。相乗効果で、青年部加入後は売上も以前より好調となった。修業の際に教えられた「人との縁の大切さ」を宏行氏は、ここで身



●人気の玉子焼

に染みて感じる事となる。また、青年部事業で、店を空ける際、頼りとなるのは、実母の存在。初期の「酒菜」や「魚菜」で人気を博し、あの頃と変わらぬ味の玉子焼などを提供し、息子であり大将である宏行氏を助けるゴッド母ちゃんである。親子鷹での提供料理も楽しめる、飲み放題付の宴会コースは4,500円（11品）からご用意され、これからの時期、会社の歓送迎会などにも使い勝手のよい居酒屋である。

「酒菜」、「魚菜」、「食の蔵 酒菜」と名称は変わるも、変わらぬ味とあくなき挑戦で、今後も半田の夜を賑やかにしていくことだろう。きっと、このカイギショゲツポウが皆さんの手元に届く頃、宏行氏が仕入れ、仕込みを行い、皆様のご来店を心待ちにしています。

（取材：榊原鉄平）

【住所】半田市有楽町6-120 ミキビル有楽1F
【代表者】久松宏行 【創業】平成27年3月
【営業時間】17：30～24：00（L.O.23：00）
【定休日】日曜日 【TEL】0569-26-0348

2020年

新年の幕開けを祝い 当所会員、来賓ら300名が参会

令和2年
新春 会員名刺交換会



新年の賀詞、参会への
祝意を表する榊原会頭

榊原純夫半田市長、伊藤忠彦衆議院議員、堀壽純一愛知県議会議員、朝倉浩一愛知県議会議員らの来賓、官公庁関係者をはじめ、当所の役員・議員・会員など約300名が参会し、1月7日に「新春会員名刺交換会」を開催した。この会は、新年の幕開けを会員事業所一同で祝おうと毎年開催している。

冒頭、榊原康弘会頭が主催者を代表し、新年の祝賀、参会への祝意を表すとともに年頭の挨拶を行い、来賓祝辞の後、地元半田の國盛と金しゃちで鏡開きをし“知多酒”で乾杯。和やかな雰囲気の中、参会者らは新年の挨拶をしたり、名刺交換をするなどして懇談し、互いに親交を深めていた。



来賓、正副会頭による鏡開き



知多酒で乾杯



津軽三味線と和太鼓の演出



全員で三本締め

神谷義尚顧問に感謝状贈呈



左から神谷顧問、榊原会頭

当所顧問の神谷義尚氏（神谷鉄工・取締役相談役）に対し、このたび日本商工会議所より永年の功績に対し感謝状が贈られました。

神谷氏は平成9年4月に当所議員に就任以降、平成13年11月から平成15年8月まで常議員、平成15年8月から平成28年10月まで副会頭を歴任。副会頭退任後は昨年10月末まで常議員を務められました。

新春議員懇談会の場において、榊原康弘会頭より記念品と共に伝達授与されました。

また同日、会員名刺交換会に先立ち、新春議員懇談会を開催した。懇談会内では、知多信用金庫地域支援部副部長・榊原 豪氏、営業統括部個人取引管理課長・鈴木芳美氏、課長代理・岩穴口香織氏の3名によるゲストスピーチが行われ、「知多信用金庫の地域貢献活動」について資料を基に説明された。その後に以下の報告事項の説明があった。

○連絡報告事項

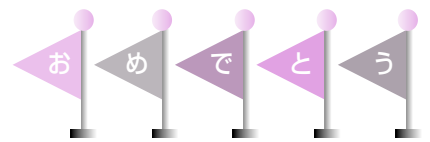
1. 令和2年、令和2年度における役員議員事業所のトピックについて
2. 部会・委員会活動について
3. 金融機関との連携事業について
 - ・知多ビジネスプランコンテスト
 - ・食のビジネスフェアあいち知多半島メッセ2020
4. 青年部活動について
5. 女性会活動について
6. その他



懇談会の様子



知多信用金庫の3氏によるゲストスピーチ



第3回

2019知多ビジネスプランコンテスト



当所は、市内金融機関との連携事業である、第3回「2019知多ビジネスプランコンテスト」2次（最終）選考会を、12月5日に実施いたしました。同コンテストは、新しいビジネスプランで「新商品・サービスの開発」や「販路開拓」、「集客」などにチャレンジする方を支援する趣旨のコンテストです。コンテストの受賞者には、「半田商工会議所並びに地元金融機関等」が伴走型支援を行いプランの実現化を図っていきます。

また、学生からもビジネスアイデアを募集し、今後の新たな事業発掘に繋げていきます。

本年は、知多半島各地の企業や個人、学生から合わせて11名の応募があり、5名が1次選考を通過し2次選考に参加されました。2次選考会では、間瀬選考委員長をはじめ、中小企業診断士らの選考委員を前に、プレゼンテーションを行っていただきました。

入賞者のみなさん



最優秀賞

(株)オオサカヤ

代表取締役社長 瀧本 真氏



学生プラン賞

半田工業高等学校

服部真心くん

ビジネスプラン

「ベビー教室・産婦人科病院などを対象とした
オリジナルベビー服の提供」



【概要】

最近では各種展示会への出展やWebサイトを通じて、時々見られるのがベビー教室や産婦人科病院といった小売店以外からの問い合わせである。ロゴを製品に付けて少ないロットではあるものの、継続的な受注があるという特徴が、メーカーとしては規模が小さい当社の特徴に合致していることやオーガニックモデルを中心とした当社の特徴はマーケットのニーズが高まっていると考え、本プランの作成に至った。

ビジネスプラン

「学校ラインスタンプ作成のマネジメント
～工業高校生の視点から～」



【概要】

近年、スマートフォンが普及し、文字による会話や連絡などでラインアプリが使われるようになった。その中で文字以外に状況を伝えたり、気持ちを伝えたりするツールとしてラインスタンプが利用されている。

ラインスタンプの影響を知多地域の学校と結びつけることにより、何らかの効果、無数の効果が考えられる。その中で本プランでは収益金の寄付等、4つの目的を考えた。

PAST

会員ファースト、考動する会議所を目指す!

事業、研修会、セミナー、様々な事業を開催しています。

工業部会

10/23

「生産現場の問題解決」セミナー



“人・システム・技術”マネジメントオフィス 代表 捻橋眞一氏を講師として招き開催。問題解決できる人は、どのように「思考」しているのだろうかなど「思考の教科書」で思考方法を身につける研修であった。参加者／10名

部会長(木下裕義／中部電力株)

金融部会

12/4

経済講演会「誰も語らない日本経済の行方」

経済ジャーナリスト・作家である渋谷和宏氏を招き開催。現在、100年に1度の大きな消費の変化が起きている。個人金融資産を多く保有している団塊世代がいわば購買力・消費リーダーであり、そこに着目した経営をしている企業が現在成長を遂げていると紹介された。



また現在、テレビ番組等を通じて健康志向が高まっており、健康をテーマとした事業展開を行い、団塊世代のみならず若い世代を取り込んでいる企業もあると紹介された。

最後にビジネスリーダーには、変化に対応する力が必要であると述べ、経営に対し常に問題意識を持ち、従業員の声、消費者の声に耳を傾ける「聴く力」こそ、変化の時代に必要な力であると説かれた。

参加者／90名

部会長(間瀬朱実／知多信用金庫)

9/19
11/14

簿記初級講座で、基礎知識を学ぶ

会社や商店は、日常様々な経営活動を行っているが、経営の現状を知り、正しい方向へ導くための羅針盤として、簿記は大変重要な役割を果たしている。



今回の講習会では、簿記の基礎知識を学んでいただくことができた。

簿記というものに触れていただいたことは大きな意義があり、日常業務で活かしていただくことはもちろん、今後の検定試験へのチャレンジや、上級取得をされることを期待したいと思います。



まちづくり
推進室

12/5

クリスマスコンサート in CLACITY



昨年9月末、マツシ楽器店からクラシティへ寄贈されたストリートピアノを活用して、午前は子どもたちと小笠原歩里氏によるピアノコンサート、午後はジャズコンサートを行った。

ピアノコンサートでは、子どもたちの日頃の練習の成果を披露。ピアノ講師等で活躍されている小笠原氏は、子どもたちからのリクエスト曲やクリスマスソングを演奏。ジャズコンサートでは、観客のリクエストやクリスマスにちなんだ曲を演奏し、多くの観客を魅了した。

ピアノコンサートでは、子どもたちの日頃の練習の成果を披露。ピアノ講師等で活躍されている小笠原氏は、子どもたちからのリクエスト曲やクリスマスソングを演奏。ジャズコンサートでは、観客のリクエストやクリスマスにちなんだ曲を演奏し、多くの観客を魅了した。

FUTURE

新たにオープンする店、お役立ちセミナー等のご紹介。



(有)可香工業 飲食店「北のゴバン」オープン



同店では、北海道好きでもあるオーナーお薦めの、北海道産メニューを多数用意。新鮮な子持ちニシンや、ホッケの塩焼きの他、ザンギも大人気。北海道の蔵元が作る日本酒や、焼酎も取り揃えている。

もちろん知多酒もご用意、「超(こゆる)」も味わえる。乙川栄町の『ホルンGOBAN』と、併せてご最良に。

代表／可香幸治

住所／半田市庚申町2-62-1 営業時間／17:00～23:00

定休日／不定休 TEL／84-8806

“地域産業界に貢献する信頼のパートナーとして”

機械・工具・配管器材・システム開発

株式会社 大成

〒475-0838 半田市旭町1丁目4番地の3

TEL (0569) **21-2315**(代) FAX(0569)**23-7592**(代) URL: <http://kk-taisei.co.jp>



 **日本ガイシ**
NGK

選ばれるのには、理由があります。

C1のファインセラミックフィルターは、わずか0.0001mmの均一な超微細孔を実現。除去したい細菌や微生物・サビなどの有害物質よりも小さく、残したいミネラルよりも大きいから、あんしんでおいしい水をつくれるのです。

4～5人以上
家族向け

スタンダード
タイプ
[CW-101]

単身者
小家族向け

スリムタイプ
[CW-401]

ファインセラミックフィルター採用の次世代浄水器 **C1** [シー・ワン]

お問い合わせは 日本ガイシ株式会社 お客様窓口 フリーダイヤル ☎0120-27-5739 受付時間 平日10:00～12:00/13:00～17:00(土日・祝日・年末年始は休み) <http://www.ngk.co.jp/C1>



安全タクシー お客様の快適が願いです。

お車のご用命は



安全タクシー(株)

☎21-0685(代)



9人乗りジャンボタクシー



～情熱と技術で、環境問題に取り組む～

松林工業株式会社

—鉄工・設備・管工事・各種プラント設備設計・製作—

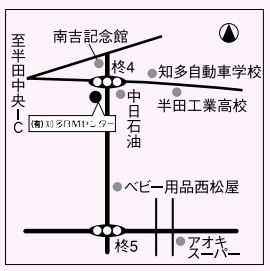
本社工場 〒475-0803 半田市乙川末広町97番地の3
TEL (0569) 23-6801(代) FAX (0569) 23-6802

FUJI XEROX 

富士ゼロックス株式会社特約店

RISO

理想科学工業株式会社
知多地区総代理店



●取扱商品 デジタル複合機
 (コピー＆FAX＆プリンタ＆スキャナ)
 高速デジタル印刷機 (ローコストプリンタ)

CBM 有限会社 知多BMセンター

CHIBA BUSINESS MACHINE

〒475-0916 半田市柵町4-201-2 (本社・ショールーム)
TEL 0569(22)1650 FAX 0569(22)8389
E-mail: info@cbm-jp.com URL <http://www.cbm-jp.com/>

各種リース
取り扱ってます

戸建
限定ギガ 1G 大幅
値下げ

テレビ・ネット・電話



まとめてのご利用で

月額 5,500円[※]～!

※LIFE 約束割適用時の金額です。

株式会社 CAC TEL: 0569-21-0070

ケーブルテレビ CAC 検索

創業資金

創業したいけど、何から
始めればいいのか?

事業資金

設備を新調したいけど、
資金調達どうしよう...

経営相談

もっと会社をよくしたい!
誰かに相談したいなあ

そんなときは...

お気軽にご相談ください!

中小企業のベストパートナー
AICHI GUARANTEE
愛知県信用保証協会

本店 名古屋市中村区椿町7番9号



中小企業のみならずの借入れをサポートします!

金融相談会開催

商工会議所
と連携安心の
公的機関¥0
相談無料お客様専用
フリーダイヤル

☎ 0120-454-754

女性創業者専用
フリーダイヤル

☎ 0120-454-877

中小企業経営者の
みなさまへ

国が準備したセーフティネット

安心の材料をご提供します。

小規模企業共済制度

● 制度の特長

1 経営者のための退職金制度

小規模企業の個人事業主(共同経営者を含む)ま
会社等の役員の方が廃業や退職後の生活資金、
事業再建資金をあらかじめ準備しておく共済制度です。

2 掛金は全額所得控除

掛金は、全額が「小規模企業共済等掛金控除」として、
課税対象所得から控除できます。

3 受取時も税制メリット

共済金の受取は、一括の場合は「退職所得扱い」、
分割の場合は「公的年金等の雑所得扱い」です。

他にもこんな特徴があります。

● 契約者貸付けの利用が可能
契約者(一定の資格者)の方は、緊
急時や災害時などに事業資金等の貸
付けが受けられます。● 共済金の受給権は差押禁止
共済金・解約手当金の受給権は、国
税等滞納の差押え以外は差押禁止
債権として保護されます。

経営セーフティ共済

● 中小企業倒産防止共済制度の特長

1 掛金の10倍の範囲内で
最高8,000万円まで貸付け「回収困難となった売掛金債権等の額」と「掛金総額の
10倍に相当する額(最高8,000万円)」のいずれか少な
い額となります。償還期間は共済金の貸付金額に応じて5
年～7年(据置期間6か月を含む)で毎月均等償還です。

2 貸付条件は無担保・無保証人

共済金の貸付けは、「無担保・無保証人」「無利子」です。
ただし、共済金の貸付けを受けますと貸付額の10分の1に
相当する額が積み立てた掛金総額から控除されます。3 掛金は税法上損金(法人)または
必要経費(個人事業)に掛金月額、5千円～20万円の範囲内(5千円単位)で
自由に選べます。

※詳しくは、ホームページまたはパンフレットをご覧ください

共済相談室

独立行政法人 中小企業基盤整備機構

TEL: 050-5541-7171

小規模共済

検索

経営セーフティ共済

検索



◆12月イルミネーション事業

YEGが半田を照らす!! ド派手なイルミで半田を彩れ!!!



◆今年も輝くモミの木



◆多くの来場者を前に挨拶をする榊原会頭

12月1日、毎年恒例となりましたイルミネーション事業を開催致しました。今年は新しい事に挑戦すべく、例年よりかなり広範囲に電飾を行うと共に、青年部マルシェを実施しました。青年部マルシェとは、青年部メンバーそれぞれが、商工業に携わる団体だからこそ出来る事業、そして、それぞれの社業に、新しい発見や発想をこの事業で感じてもらうためのものです。実現に向けて、委員会で頑張っていました。

事業を終えて思うことは、半田YEGはすごい!という事です。当日来場者の表情を見て感じた事です、われわれ半田YEGの力で、地域に賑わいを、来場者に笑顔を、子ども達の歓声を創り出せる団体なんだと改めて確信し誇らしく思いました。これも全て、委員会メンバーをはじめ、ご協力を賜りました全ての皆様のおかげでございす。誠にありがとうございました。

しかしその反面、初めての試みということもあり、設営や準備等で皆様に、ご心配・ご迷惑をおかけした部分もあり、大変申し訳ございませんでした。この経験を次代のメンバーにしっかりと繋いでいき、メンバー全員が所属している(する)ことを誇らしく思う団体として目指していただきたいと思います。

渉外委員会 委員長 千葉高也(千葉電工)



◆当日限定の光のトンネル



◆ワークショップも大人気



◆12月サンタクロース事業

55突然サンタクロース ～こどもに夢を街にほほえみを～



◆現役時代以来にサンタに扮した松石副会頭



◆55の人文字をサンタが表現

12月23日、「12月サンタクロース事業～こどもに夢を街にほほえみを～」を開催致しました。未就学のお子様がいる応募家庭の中から抽選を行い、サンタクロースに扮した青年部メンバーが当選した55家庭を訪問し、プレゼントを渡すという事業です。

当日参加いただきました松石副会頭、榊原市長、応募チラシの配布にご協力いただきました半田市内の幼稚園、保育園関係者の皆様、ご協力ありがとうございました。

この街で四半世紀以上続く、本事業が繋いできたものは「プレゼント」ではなく「想い」だと考え、親から子への深い愛情や夢を伝えるお手伝いができるように、多くのメンバーが家庭ごとに打合せを行いながら対応しました。

また、本年から始まった当会の公式LINE@を駆使して、申込受付から問い合わせ、訪問家庭の位置情報やお子様へのメッセージ等、ほとんどの情報収集を行いました。更に、キーワード自動返信機能を活用して、メッセージごとにショートムービーを作成、当日渡したメッセージカードにキーワードを記載することで、公式LINE@にて配信することにも挑戦しました。サンタクロースに扮したメンバーが、笑顔で会議所に戻ってきたこと、各家庭からも笑顔や、喜びの声をいただけたことを思うと、本事業を通じて繋いできた「想い」が様々な方向に対して、いい影響を与えていると確信しました。街の将来を担う子どもたちが半田市に一層愛着を持ち、更なる街のアップデートを考えられるように、今の街をデザインする私たちからの大きなメッセージとなったことを期待しております。

半田のこども育成委員会 委員長 山本悠介(CTリング株)

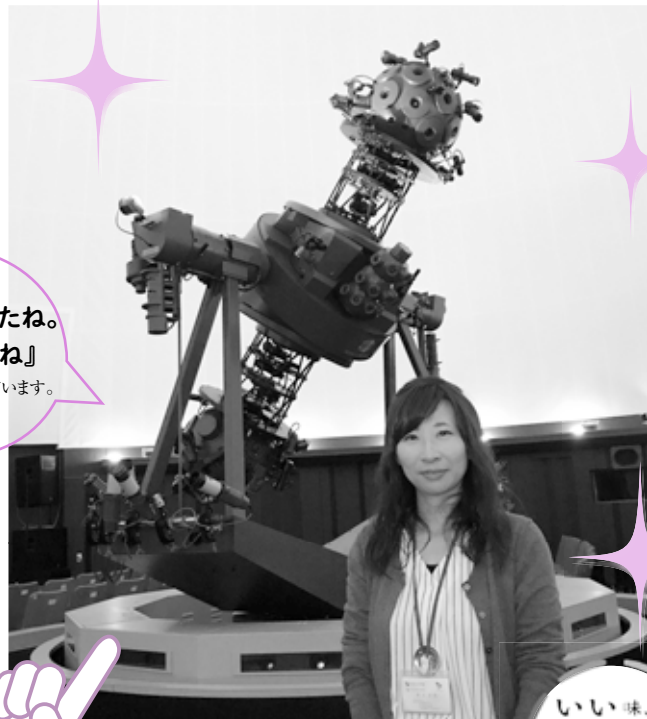
はんだびと いいかも半田人!



【半田空の科学館】
半田市桐ヶ丘4-210
TEL.23-7175 9時～17時(毎週月曜休)

「来てよかったね。
また来たいね」

をモットーに運営しています。



半田空の科学館
館長 杉江 幸代氏

いい味、
かもします。
半田

館長の杉江幸代さんに空の科学館の魅力をお伺いしました。

「ここは知多半島唯一のプラネタリウムです。ですので、市外から多くのお客様がお越しになりますね。特に小学生の校外学習では県内各所から、週末にはファミリー層中心にたくさんの方が来てくれますよ」

ここ最近のお客様の動向について、

「ここは10年前から民間運営になり、少しずつ提供するサービスの自由度もあがり、併せて、プラネタリウムの設備や望遠鏡も更新され、年々魅力的なサービスを提供できるようになりました。お客様も増え、とてもありがたいです」

星が大好きなボランティア
スタッフが多く活動も多彩。
毎週金曜夜は星の観察
会、年2回星祭り、星のソム
リエ講座などを実施。



「ごんぎつね」がストップモーションアニメシ
ョン“ごん”となってプラネタリウムで上映中
(毎週金土日祝14時30分～、9月27日まで)



ここには域外に誇れる星の文化が溢れています。この文化を活かし、育て、今後に繋いでいければと思います。

文責：半田市観光協会事務局長 榎原 宏

久しぶりの編集後記の井上です。

もう早いもので、平成31年度(令和元年度)が終わろうとしています。年々、一年が過ぎるのが早く感じるようになってきたのは、いろいろな事を経験してきて、その生活に新鮮味がないからだと思っていました。だからうちの祖母なんかは特に、「もう一年経つがなー」なんて言っていて、それは祖母が何事も経験済みだからだと。子どもは『早く夏休み来るといいな』とか『誕生日まだかな』とか何か新しいことをいつも探しているから、一年が長く感じるんじゃないかと。

そんなことを会員さんと話していたら、「いやいや違うでしょ、大人はいつも仕事や家事や何やらの締切などに追われているからせわしく感じるのでしょう。子どもはある程度やることも無くて暇だからでしょ」と言われました。ああ、そうか、そうだったのか。確かに子どもの頃は何も考えずに生きていたなーと感じ、少しだけ忙しい大人になったんだと感じた今日この頃でした。

福祉共済課 井上さや香



山本量子 (やまもと・りょうこ) さん

南知多町生まれ、半田市在住
趣味：タヒチアダンス・旅行

太田恭子 (おおた・やすこ) さん

岡山県生まれ、半田市在住
趣味：半身浴・料理

カラダとココロにちょっとしたご褒美を

山本 家事が好きでずっと専業主婦でいたいと思っていましたが、子どもが保育園に入った頃お友達に頼まれて働き始めました。その職場はとて素晴らしい環境だったので10年間勤めていましたが、通信会社を生業とする主人がカプセルサロンの始めることを決めたのをきっかけに職場を辞め、お手伝いをするにしました。夫婦で南国へ旅行することが好きなので、店内はリゾート地のスパをイメージ、シンボルツリーはヤシの木にして、大好きなハワイの雰囲気溢れるお店にしました。また、店の前は桜並木で、桜の季節にはテラス席でお茶をするのもステキなシチュエーションです。(カフェスペースあり)

今も専業主婦がいいなと時々思いながら、楽しく働いています(笑)。パートナーは13年来のお友だちのやっちゃんです。

太田 私も量子ちゃんと似ていて本当は家でゴロゴロしていたい、子どもと一緒にいたい方です。私が傍にいないと泣いていた子どもも、ご飯とお金があればいい(笑)、友達が一番という

年になり少し寂しさを感じていました。そんな時にお誘いいただき、興味深い分野の仕事と思ってお勤めさせていただくことにしました。朝が得意な私が午前、午後は量子ちゃんが担当です。お客さまは健康に関する意識が高い方が多いので、その分野の情報をいっぱい持っています。私たちも勉強しなければと、常にアンテナを張っています。

山本 「今まで名古屋に行っていたけど、近くにできて良かった」と通っていらっしゃる方もいます。接骨院さんや整体院さんに酸素カプセルを設置している所もあるようですが、知多半島で専門店はこちらではないでしょうか。知多半島一円、三河

方面から来店され、10代から70代までの幅広いお客さまにご利用いただいています。ケガの早期治療、勉強の集中力アップ、部活疲れ、仕事疲れ、睡眠不足で悩んでいる方々、理由はそれぞれですが、本当にみんな疲れているとこの仕事を通じて感じています。酸素不足が体の不調の原因とも言われており、1時間のカプセル利用は2・3時間の睡眠に値する上に、高濃度酸素を取り込むことで、疲れ解消の一つの選択になると考えています。

太田 人によって効果の表れ方は異なり「スッキリした」とお帰りになる方、すぐに実感できなくてもリピーターでいらっしゃる方それぞれですが、カラダに良いことはどなたも感じていらっしゃるようです。また、コラーゲンマシンのご利用も多いですね。人間のカラダを作っているタンパク質のうち約30%、皮膚の約70%はコラーゲンが占めています。マシンのご利用で、関節の痛み等の緩和、内臓の改善、お肌のハリと弾力を増し、髪の毛のサラサラ効果など嬉しいことばかりです。

山本 このお店は「カラダとココロにちょっとしたご褒美を」をコンセプトにしています。酸素カプセル・コラーゲンマシン、セラゼムマシンなど、組み合わせることで効率よく効果を得ることができます。もう少し落ち着いたら、空きスペースを利用して何か新しいことに挑戦したいですね。もしかしらば先ずは、本格的にカフェを始めるかも！

太田 家でゴロゴロ派の私も、今では働くことに魅力を感じ、この仕事に全力です。量子ちゃんと一緒に、皆さんの元気なカラダ作りのお手伝いが出来たらと思っています。

山本さん家族と太田さん家族とお友達との恒例となっているキャンプは夏の楽しみのひとつ。

Capsule Salon
LITTLE TREAT

■所在地／半田市瑞穂町5-2-3 ■TEL／84-9133
■営業時間／9:00～21:00 ■定休日／火曜日 ■完全予約制

登壇者募集中！

あなたの周りに輝いている方はいらっしゃいませんか！男性・女性・自薦・他薦は問いません。ご連絡をお待ちしています。TEL.21-0311(広報チーム)



カイキジヨ
ザッポウ

半田商工会議所月報第872号（毎月1日発行）
発行人 小柳 厚 編集人 榊原鉄平

令和2年2月1日発行 発行所 半田商工会議所 愛知県半田市銀座本町1-1-1
月報購読料は年会費に含まれています（定価一部 410円・税別）

印刷所 中基総合印刷株式会社

電話 0569-21-0311 創立 明治26年9月18日

令和2年1月

新本部棟をオープンいたしました

建物は新しくりましたが

志は変わりません

ちたしん は

これまでも これからも

地域のみなさまの生活を応援しています



ふれあい地元とともに

知多信用金庫

半田市星崎町3丁目39番地の10

TEL:0569-22-3511

<http://www.chitashin.co.jp>